

委員会報告

3委員会では、この1年間それぞれテーマを掲げて調査・研究を行い、3月議会でその総括が委員長から報告されました。内容を抜粋してお知らせします。

総務経済常任委員会

調査研究テーマ「公共交通」

デマンド交通の 24年度実施を要望

本委員会では、デマンドバス・デマンドタクシーを中心に地域公共交通について先進地（北本市・鳩山町・新潟県胎内市）への視察を含め、調査・研究を行ってきました。

- それらを踏まえて執行に対し、平成23年度中にデマンド交通の検討委員会を立ち上げて、平成24年度を目途に実施されたい。
- 観光・商業面等も含めて町の活性化に寄与できる公共交通とされたい。
- この要望を付し、本件については、今回をもって調査研究を終結することを決定しました。

文教厚生常任委員会

調査研究テーマ「障害者支援対策」

利用しやすい 障害者交流センターを

「障害者支援対策について」をテーマに、また障害者交流センターの設置に向け、1年間調査研究した内容をもとに、全委員で検討しました。

- その結果、執行に対して次の要望を行い、本件については今回をもって調査研究を終結することを決定しました。（意見・要望）
- 町として施策が講じられていないところにもスポットを当てるべきである。
- 障害者交流センターの早期建設を実現されたい。
- 障害者団体の意見を聞き、現在の状況に合った利用しやすい施設を建設されたい。

第4次三ヶ山地域開発調査特別委員会

調査研究テーマ

「三ヶ山地域の開発調査」

第5次特別委員会の 設置を次期議会に望む

当委員会では12月定例会後に、三ヶ山地区内の企業誘致推進対象地や環境整備センターを視察し、また1月25日には、埼玉県から彩の国資源循環工場第Ⅱ期事業の進捗状況等について説明を受けました。その中で次の要望がありました。

- 安心・安全が確保されるよう、住民の声が届く検討をしていただきたい。
- 企業を幅広く募集し、町の発展につながるよう誘致していただきたい。
- 第Ⅱ期事業も始まり、埋立地の跡地利用や企業誘致推進など重要課題も多い。今後も、全町の見地で活動できるように、第5次の特別委員会設置を次期議会に強く望みたい。



県より、状況等について説明を受ける

なお、委員会では「三ヶ山地域の開発調査について」をテーマに4年間にわたり調査研究を続けてきましたが、本件については今回をもって調査研究を終結することを決定しました。

よりの笑顔、もひひと。裏表紙もびびらんとくたわつ。